

ハイドロカルチャーを贈ろう

段々と暑さが本格化するこの季節、じめじめと湿度も高くなり過ごしにくい日が多くなります。私たちにとって過ごしにくい季節ですが、観葉植物には最も過ごしやすい季節です。店頭には様々な種類があり、日頃あまり植物に触れることがない方でもチャレンジしやすい季節が6月です。その中でも一般的な鉢に比べて管理がしやすいハイドロカルチャーは、水よりも樂です。また生育がゆっくりになるので小スペースでも飾ることができ、ギフトにも人気です。お部屋やワークスペースなどに少し植物があるだけで日々の疲れを癒してくれたり、すくすく育っていく植物の生命力は私達に元気をかけてくれますよね。涼しげな印象の観葉植物はこれから夏の季節のギフトにもぴったり、6月19日の父の日の贈り物にもおススメです！



① フィロデンドロン アクアプランツポット
明るい葉色は年間を通して人気！アクアプランツポットは鉢が水を吸ってくれるのでお皿に水を溜めるだけでとっても簡単ですよ。



② シンゴニウム
斑入りの品種は暑い季節には外せない、見た目も涼やかで人気の品種。ハイドロカルチャー苗には珍しいボリュームの良い一鉢。



③ フィカスウンベラータ
ハート形の葉っぱで人気の観葉植物、非常に育てやすくお手入れ簡単。穴の開いていないガラスの器なので置き場所も選びません。水位も見やすく水やりの失敗もしくいやす。



④ エケベリア
多肉植物も水耕栽培で楽しめます。水耕栽培だとぷっくりとしたかわいらしい姿になります。水に浸かる部分は根だけになるように水位に注意が必要です。



⑤ カシワバゴム
ユニークな形の器とあわせて◎ 自分好みやインテリアに合わせて好きな器とくみあわせて楽しめます。

ご存じの方も多いと思いますが、もう一度ハイドロカルチャーをおさらいしてみましょう。ハイドロカルチャーとは器の底面に水を溜めて植物を育てる栽培方法のことです（水耕栽培）。鉢に穴が開いていなければ、コップでもお皿でも自分のお気に入りの器で楽しむことができます。植物を育てるとき、意外と難しいのが水やりの加減です。与えすぎると根腐れを起こす原因になります。足りなければ水分不足で枯れてしまいます。適切な水やりを行うためには、土の状態をみて判断する必要があります。その点、ハイドロカルチャーは水の過不足が目で見てわかりやすいというメリットがあります。また、ハイドロカルチャーで使われる植え込み材のレカトンは粘土を高温で焼成泡した人工の土です。通気性、保水性に優れています。無機質のため通常の鉢植えで育生させる土に比べて虫やカビ、雑菌などの発生が少なく、清潔で快適に観葉植物を育てることができます。

ハイドロカルチャーは植物の種類や品種がとてもたくさんあります。その中から自分のお気に入りの植物とお部屋のインテリアにあう器を探して自分好みの一鉢を楽しんだり、大切な方にプレゼントしてみるのはいかがでしょうか？日々の生活に彩を加えてくれますよ、お手軽に育てることができるハイドロカルチャーでいろんな種類を育ててお楽しみください。

日陰を楽しもう ～シェードガーデンの魅力～

日陰だと植物が育ちにくく、花が付かないといったイメージが強いように感じますが、そんなことはありません。むしろ日向では見ることのできない植物の魅力があります。

冬の季節はなかなか日陰で楽しむお花は少ないです。6月から夏に向けての気温が高くなる今からは日陰で楽しむお花も豊富にそろいます。お花でなくともカラーリーフを使い色のコントラストを楽しむこともできます。ここ数年で新しい品種も増えています。

最近、お客様からよく相談されることがあるのですが、玄関先にお花を飾りたいのだけれど陽あたりがありよくなくてうまく育たない。でも何か飾りたい。やはり、玄関先に植物があると住んでいる側も、来客される側も気分が良くなるものですね。どうしても玄関先は軒があつたり、奥まっている、マンションは北側玄関が多いです。そのような場所でもお手軽に育てられる植物が今の季節は豊富にそろっています。

インパチェンスやベゴニアは日陰の人気者です。最近ではトレニアのカターリーナシリーズも日陰で大活躍です。日陰で育つ代表花といっても過言ではないでしょう。逆に今回、紹介している植物たちは夏の西日がしっかり当たるような場所では育ちにくくなります。花が付きにくくなったり葉が焼けたりします。

カラーリーフもギボウシ（ホスタ）は根強く人気ですし、今回紹介しているノブドウ（斑入り）も色の変化も楽しめて面白い植物です。葉で楽しむ系統の植物は、冬には葉を落とす宿根草が多いです。冬場は地上部がなくなりますが春から新芽を出し植物の成長を感じられるのも楽しみのひとつですよ。

日陰も明るく綺麗に見てくれる植物たち。暑い時こそ日陰で涼みたい！そんな時に日陰に彩りを与えてくれること間違ひないです。日陰だからと諦めるのはもったいない！日陰だからこそできるシェードガーデンを楽しみましょう！



⑥ ノブドウの寄せ植え 斑入りのノブドウが涼しさを演出します。花が入らなくてもカラーリーフだけでも見ごたえのある1鉢ができるあります。



⑦ インパチェンス (八重咲) の寄せ植え
カラーリーフと合わせるとよりいっそうインパチェンスがひきたりますよ。



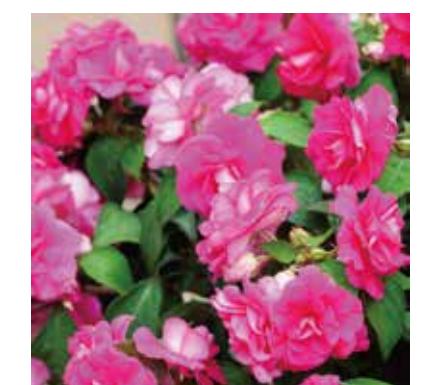
⑧ アカンサス ホワイトウォーター
斑入りの葉がとっても魅力的。宿根草で50~60センチの株になります。株が成熟してくると春には淡いピンクの花が立ち上がります。



⑨ チャイニーズフェアリーベルズ
チゴユリの仲間で近年注目の植物。冬はなくなりますが毎年出てくるおすすめのシェードプランツです。



⑩ コロンとして、可愛らしい八重咲きベゴニア (バソダブル) のハンギングバスケットです。



⑪ インパチェンスだけで楽しむのも豪華に咲いてくれ見ごたえのある1鉢になりますよ。